

(2) 変遷 [1991年10月1日～2011年10月1日]

事務組織

1991. 10. 1 事務局長、総務課に庶務係と会計係、施設課に工営係と設備係で事務局が発足
1992. 4. 1 総務課に人事係、用度係、教務係、情報管理係、情報処理係を設置
施設課の設備係を機械係に改称
施設課に電気係を設置
1992. 4. 10 庶務課、会計課、施設課、学生課、学術情報課を設置
庶務課に庶務係と人事係を設置
会計課に総務係と用度係を設置
学生課に教務係を設置
学術情報課に情報管理係、情報処理係を設置
1993. 4. 1 事務局に部制を施行
総務部に庶務課、会計課、施設課を設置
研究協力部に研究協力課、学生課、学術情報課を設置
庶務課に課長補佐を設置
会計課に課長補佐と司計係を設置
施設課に課長補佐と企画係を設置
研究協力課に研究企画係を設置
学生課に課長補佐と学生係を設置
1994. 4. 1 庶務課に企画広報係を設置
会計課に出納係、情報経理係を設置
研究協力課に課長補佐、研究事業係を設置
学術情報課に課長補佐、情報サービス係を設置
1995. 4. 1 研究協力課に学术交流係を設置
学生課に厚生係を設置
1996. 4. 1 研究協力課に専門職員（研究情報担当、研究助成担当）を設置
1997. 4. 1 庶務課に専門職員（企画・調整担当）を設置
会計課に専門職員（契約担当）を設置
研究協力課の2専門職員を専門職員（産学協力及び情報科学研究科事務担当）と専門職員（学术交流及びバイオサイエンス研究科事務担当）に担当替
学生課の厚生係を廃止し、専門職員（厚生担当、入試担当）を設置
1998. 4. 1 研究協力課の研究事業係を廃止し、専門職員（研究事業担当、産学連携担当）を設置
1999. 4. 1 研究協力課の専門職員（産学協力及び情報科学研究科事務担当、学术交流及びバイオサイエンス研究科事務担当）に庶務課勤務を命ずる（学内措置）
庶務課に専門職員（法規及び物質創成科学研究科事務担当）を設置
研究協力課の学术交流係を廃止し、専門職員（学術支援担当、国際交流担当）を設置
学生課の教務係を廃止し、専門職員（教育課程担当、学籍管理担当）を設置
学術情報課の情報処理係を廃止し、専門職員（情報処理担当、著作権・DB構築担当）を設置
研究協力課にインターナショナルセンターを設置（学内措置）
1999. 10. 1 庶務課に企画室を設置（学内措置）
2000. 4. 1 庶務課に専門員（大学改革担当）と専門職員（秘書担当）を設置
庶務課の専門職員（企画・調整担当）を専門職員（服務担当）に担当替
2001. 4. 1 会計課の専門職員（契約担当）を専門員（契約担当）に振替
会計課の情報経理係を経理係に改称

第6部 資料編 2 組織・機構変遷表

2002. 4. 1 庶務課の専門職員（秘書担当）を専門職員（学長付）に担当替
 会計課に専門職員（管財・独立行政法人担当）を設置
 研究協力課の専門職員（国際交流担当）を専門員（国際交流担当）に振替
2002. 6. 18 施設課に施設マネジメント推進室を設置（学内措置）
 研究協力課に地域交流推進室を設置（学内措置）
2002. 10. 7 事務局に大学法人化準備室を設置（学内措置）
 庶務課の専門職員（服務担当）を専門職員（広報担当）に担当替
 庶務課の企画広報係を廃止し、企画調整係を設置
 会計課の専門職員（管財・独立行政法人担当）を専門職員（管財）に担当替
2003. 4. 1 庶務課に専門職員（大学評価担当）を設置
 施設課に専門員（施設マネジメント担当）を設置
 研究協力課に専門職員（渉外担当）を設置
 学生課に専門員（学生支援担当）を設置
2003. 10. 1 庶務課の専門職員（大学評価担当）を専門職員（服務担当）に担当替
2004. 5. 16 企画室を設置し、専門職員、秘書係、企画・評価担当、広報情報管理室担当を置く
 監査室を設置
 環境安全衛生管理室を設置
 研究科事務室を設置
 事務局の総務部に総務課、会計課、施設課を設置
 研究協力部に研究協力課、学生課、学術情報課を設置
 総務課に専門員（国際交流及び福利厚生担当）、専門職員（地域連携及び公開講座担当）、総務係、任用係、服務係、福利厚生係を設置
 会計課に専門員（契約担当）、会計管理係、出納係、経理係、契約係を設置
 施設課に専門員（施設マネジメント担当）、施設企画係、工営係、設備係、施設保全係を設置
 研究協力課に専門職員（産官学推進担当）、産官学推進室、研究協力係、補助金係、連携協力係を設置
 学生課に、専門員（学生支援担当）、専門職員（学生・留学生担当、教育課程担当）、学生・留学生係、入試係、教務係を設置
 学術情報課に専門職員（著作権・DB構築担当）、管理係、運用係、情報基盤係を設置
2006. 4. 1 企画室の専門職員、秘書係、企画・評価担当、広報情報管理室担当を廃止
 事務局の総務部を教育・研究支援部に、研究協力部を業務管理部に改称
 教育・研究支援部に企画・総務課、学生課、研究協力課、学術情報課を設置
 業務管理部に人事課、会計課、施設課を設置
 総務課の専門員（国際交流及び福利厚生担当）を廃止
 総務課の専門職員（地域連携及び公開講座担当）を企画・総務課の専門職員（総務担当）に担当替
 企画・総務課に総務・秘書係、企画・法規係、評価・調査統計係、国際・広報・地域連携係を設置
 学生課の専門職員（学生・留学生担当、教育課程担当）を廃止
 研究協力課の研究協力係を研究企画係に、補助金係を補助金事業係に、連携協力係を研究支援係に改称
 学術情報課の専門職員（著作権・DB構築担当）を廃止
 学術情報課の管理係を図書総務係に、運用係を情報サービス・電子図書館係に、情報基盤係を情報企画係に改称
 人事課に任用係、服務係、福利厚生係を設置

第6部 資料編 2 組織・機構変遷表

- 会計課の専門員（契約担当）を廃止
2007. 4. 1 事務局の教育・研究支援部を教育研究支援部に、業務管理部を経営企画部に改称
 企画・総務課を企画総務課に改称
 企画・総務課の専門職員（総務担当）、総務・秘書係、国際・広報・地域連携係を廃止
 企画総務課に国際連携室、総務係、秘書係、広報渉外係を設置し、国際連携室に国際連携係を置く
 人事課の任用係、服務係を廃止
 人事課に人事企画係、職員係、給与係を設置
 会計課の会計管理係、出納係、経理係を廃止
 会計課に財務企画係、決算係、資金係、調達係を設置
 施設課の専門員（施設マネジメント担当）を廃止
2008. 4. 1 学生課の学生・留学生係、入試係、教務係を廃止
 学生課に専門職員（学生経済支援担当、留学生・修了生支援担当）、教育企画係、学務・入試係、学生支援係を設置
 研究協力課の専門職員（産官学推進担当）、産官学推進室を廃止
 研究協力課に産官学推進係を設置
 会計課に検収センターを設置
2009. 3. 1 施設課の施設保全係を廃止
 施設課に施設マネジメント係を設置
2009. 4. 1 学生課の専門職員（留学生・修了生支援担当）、学務・入試係を廃止
 学生課に学務係、入試係、留学生交流係を設置
2009. 8. 1 施設課に専門職員を設置
2009. 9. 1 男女共同参画室を設置
2010. 8. 1 学術情報課の図書総務係を廃止
 学術情報課に情報総務係を設置
2010. 10. 1 研究協力課に専門職員（産官学連携担当）を設置

情報科学研究科

1991. 10. 1 情報処理学専攻の情報基礎学講座で発足
1992. 4. 1 情報処理学専攻に情報論理学、計算機言語学の各講座を設置
情報システム学専攻にソフトウェア基礎、言語設計学、情報ネットワークの各講座を設置
1993. 4. 1 情報処理学専攻に自然言語処理学、知識工学、知能情報処理学、像情報処理学、音情報処理学、言語科学（客員）、認知科学（客員）の各講座を設置
情報システム学専攻にソフトウェア計画構成学、計算機アーキテクチャ、マルチメディア統合システム、システム基礎、システム制御・管理、ロボティクス、並列分散システム（客員）の各講座を設置
1995. 4. 1 アルゴリズム論（連携）、人間情報処理学（連携）、人間・機械系学（連携）、情報システムアーキテクチャ（連携）、ヒューマン・インターフェース（連携）の各講座を設置
1997. 4. 1 マルチメディア移動通信（連携）講座を設置
1998. 4. 1 アルゴリズム論（連携）を適応システム論（連携）に、人間・機械系学（連携）を人間・ネットワーク系学（連携）に各講座を改称
光センシング（連携）講座を設置
2000. 4. 1 適応システム論（連携）をコミュニケーション学（連携）に、人間情報処理学（連携）を計算神経科学（連携）に各講座を改称
バイオ情報学（連携）講座を設置
2001. 4. 1 情報システム学専攻に論理生命学講座を設置
2002. 4. 1 情報処理学専攻の情報論理学をコンピュータ設計学に、計算機言語学をインターネット工学に、知識工学をソフトウェア基礎学に、認知科学（客員）を計算機構学（客員）に各講座を改称
情報システム学専攻のソフトウェア基礎を視覚情報メディアに、ソフトウェア計画構成学をソフトウェア工学に、情報ネットワークを情報コミュニケーションに、システム基礎を応用システム科学に、ロボティクスをロボティクスに各講座を改称
情報システム学専攻の計算機アーキテクチャ、マルチメディア統合システム、論理生命学、並列分散システム（客員）の各講座を情報生命科学専攻に移設
情報生命科学専攻にバイオ情報学、構造機能ゲノム学、ゲノム情報学（客員）、蛋白質機能予測学（人材養成ユニット）の各講座を設置
人間・ネットワーク系学（連携）をヒューマンウェア工学（連携）に、バイオ情報学（連携）を生体膜情報学（連携）に各講座を改称
2003. 4. 1 デジタルヒューマン学（連携）、メディアネットワーク（連携）の各講座を設置
2004. 4. 1 連携講座を教育連携講座に改称
放射線機器学（教育連携）講座を設置
2005. 4. 1 情報システム学専攻にソフトウェア設計学、インターネット・アーキテクチャの各講座を設置
2006. 4. 1 情報システム学専攻の計算機構学（客員）講座を量子情報処理学（客員）講座に改称
情報生命科学専攻のバイオ情報学講座をデータベース学、論理生命学、生命機能計測学の各講座に、構造機能ゲノム学講座を構造生物学、システム細胞学、比較ゲノム学の各講座に改編
情報生命科学専攻に生命システム学講座を設置
情報生命科学専攻の蛋白質機能予測学（人材養成ユニット）講座を廃止
情報生命科学専攻に蛋白質機能予測学講座を設置
情報生命科学専攻のゲノム情報学（客員）講座を神経計算学（客員）講座に改称
メディアネットワーク（教育連携）講座を廃止
メディアフュージョン学（教育連携）講座を設置
2006. 7. 27 情報システム学専攻の言語設計学講座を廃止
情報システム学専攻にコンピューティング・アーキテクチャ講座を設置

2007. 4. 1 情報処理学専攻にインタラクティブメディア設計学講座を設置
メディアフュージョン学（教育連携）講座をユニバーサルコミュニケーション（教育連携）講座に改称
2008. 4. 1 情報システム学専攻に環境知能学講座を設置
情報システムアーキテクチャ（教育連携）をシンビオティックシステム（教育連携）に、生体膜情報学（教育連携）を生体分子情報学（教育連携）に各講座を改称
2010. 4. 1 プログラミング科学（教育連携）講座を設置
2011. 4. 1 情報処理学専攻、情報システム学専攻、情報生命科学専攻を情報科学専攻に改編
情報科学専攻に、コンピュータ科学領域、メディア情報学領域、システム情報学領域を設置
講座制を廃止し、研究室制を施行
コンピュータ科学領域にコンピューティング・アーキテクチャ、ディペンダブルシステム学、計算メカニズム学、ユビキタスコンピューティングシステム、ソフトウェア基礎学、ソフトウェア工学、ソフトウェア設計学、インターネット工学、情報基盤システム学（協力）の各研究室を設置
メディア情報学領域に自然言語処理学、音情報処理学、知能コミュニケーション、ネットワークシステム学、視覚情報メディア、インタラクティブメディア設計学、環境知能学、言語科学（客員）の各研究室を設置
システム情報学領域にロボティクス、知能システム制御、数理情報学、生命機能計測学、計算システムズ生物学、神経計算学（客員）の各研究室を設置
情報科学専攻にコミュニケーション学（教育連携）、計算神経科学（教育連携）、ヒューマンウェア工学（教育連携）、シンビオティックシステム（教育連携）、ヒューマン・インターフェース（教育連携）、マルチメディア移動通信（教育連携）、光センシング（教育連携）、生体分子情報学（教育連携）、デジタルヒューマン学（教育連携）、放射線機器学（教育連携）、プログラミング科学（教育連携）、ネットワーク統合運用（教育連携）、ユニバーサルコミュニケーション（教育連携）の各研究室を設置

バイオサイエンス研究科

1992. 4. 10 細胞生物学専攻の細胞構造学講座で発足
1993. 4. 1 細胞生物学専攻に細胞機能学、細胞遺伝学の各講座を設置
分子生物学専攻に原核生物分子遺伝学、植物分子遺伝学の各講座を設置
1994. 4. 1 細胞生物学専攻に細胞内情報学、細胞間情報学、植物代謝調節学、動物代謝調節学、形質発現植物学、応用微生物学（客員）の各講座を設置
分子生物学専攻に動物分子遺伝学、植物遺伝子機能学、動物遺伝子機能学、細胞増殖学、分子発生生物学、分化・形態形成学、生体高分子構造学、生体高分子設計学（客員）、生体有機化学（客員）の各講座を設置
1997. 4. 1 大正製薬ゲノム機能解析（寄附）講座を設置
2002. 4. 1 細胞生物学専攻の細胞遺伝学講座を情報科学研究科情報生命科学専攻に移設
2004. 4. 1 自然免疫学（教育連携）、微生物分子機能学（教育連携）、葉緑体工学（教育連携）、器官誘導発生学（教育連携）、脳形成学（教育連携）の各講座を設置
2005. 4. 1 細胞生物学専攻に分子神経分化制御学、動物細胞工学、生体情報学の各講座を設置
細胞生物学専攻の動物代謝調節学講座を遺伝子発現制御学講座に改称
分子生物学専攻に植物細胞工学講座を設置
大正製薬ゲノム機能解析（寄附）講座を廃止
自然免疫学（教育連携）講座を疾患分子遺伝学（教育連携）講座に改称
微生物分子機能学（教育連携）、葉緑体工学（教育連携）の各講座を細胞生物学専攻に移設
疾患分子遺伝学（教育連携）、器官誘導発生学（教育連携）、脳形成学（教育連携）の各講座を分子生物学専攻に移設
2006. 4. 1 細胞生物学専攻に植物組織形成学講座を設置
細胞生物学専攻の応用微生物学（客員）講座をメディカル生物学（客員）講座に改称
分子生物学専攻の生体高分子設計学（客員）をシステムズ生物学（客員）に、生体有機化学（客員）をゲノム機能学（客員）に各講座を改称
分子生物学専攻の器官誘導発生学（教育連携）を廃止
2007. 4. 1 細胞生物学専攻の葉緑体工学（教育連携）講座を廃止
2008. 4. 1 分子生物学専攻の植物細胞工学講座を廃止
分子生物学専攻に生体機能制御学講座を設置
2010. 11. 1 細胞生物学専攻に神経ネットワーク形成学（教育連携）講座を設置
2011. 4. 1 細胞生物学専攻、分子生物学専攻をバイオサイエンス専攻に改編
バイオサイエンス専攻に、植物科学領域、メディカル生物学領域、統合システム生物学領域を設置
講座制を廃止し、研究室制を施行
植物科学領域に植物分子遺伝学、細胞間情報学、植物細胞機能、植物代謝制御、植物成長制御、植物形態ダイナミクス、分化・形態形成学の各研究室を設置
メディカル生物学領域に分子発生生物学、分子情報薬理学、分子神経分化制御、神経形態形成学、神経機能科学、動物遺伝子機能、動物細胞工学、腫瘍細胞生物学、細胞増殖学の各研究室を設置
統合システム生物学領域に原核生物分子遺伝学、システム微生物学、細胞機能システム、細胞シグナル、ストレス微生物科学、構造生物学、生体機能制御学、遺伝子発現制御、細胞機能学、生体高分子構造学の各研究室を設置
バイオサイエンス専攻に疾患分子遺伝学（教育連携）、神経ネットワーク形成学（教育連携）、組織形成ダイナミクス（教育連携）、細胞成長学（教育連携）、微生物分子機能学（教育連携）の各研究室を設置

物質創成科学研究科

1996. 5. 11 物質創成科学専攻の高分子創成科学講座で発足
1997. 4. 1 物質創成科学専攻に量子物性科学、光機能素子科学、演算・記憶素子科学、バイオミメティック科学の各講座を設置
1998. 4. 1 物質創成科学専攻に凝縮系物性学、複雑系解析学、微細素子科学、反応制御科学、エネルギー変換科学、超分子集合体科学、生体適合性物質科学、機能物性解析学（連携）、メゾスコピック物質科学（連携）、知能物質科学（連携）、機能高分子科学（連携）、環境適応物質学（連携）、感覚機能素子科学（連携）の各講座を設置
2005. 4. 1 物質創成科学専攻に光情報分子科学、ナノ構造磁気科学の各講座を設置
2006. 4. 1 物質創成科学専攻に超高速フォトニクス講座を設置
2008. 10. 1 物質創成科学専攻に濱野準一レーザーバイオナノ科学（寄附）講座を設置
2009. 4. 1 物質創成科学専攻の演算・記憶素子科学講座を廃止
物質創成科学専攻に情報機能素子科学講座を設置
2011. 4. 1 講座制を廃止し、研究室制を施行
物質創成科学専攻にグリーンマテリアル、グリーンデバイス、グリーンナノシステム、グリーンバイオナノの各研究室を設置
2011. 8. 1 物質創成科学専攻に光物性理論研究室を設置
2011. 9. 30 物質創成科学専攻の濱野準一レーザーバイオナノ科学（寄附）研究室を廃止